

鳥羽市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和5年度第2回鳥羽市地域公共交通会議全体会
開催日時	令和6年2月19日(月) 10:00~12:00
開催場所	鳥羽市役所本庁舎3F 第2・3委員会室
議題	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 議事 議案第1号 市営定期船運航ダイヤの改正について 協議第1号 市営定期船運航ダイヤの改正に伴うかもめバスダイヤ改正の事前協議について</p> <p>3. その他 (1) 三重県地域公共交通計画中間案について</p>
会議資料	席次表・委員名簿 事項書 議案書 資料1 市営定期船運航ダイヤ改正(案) 資料1-2 定期船航路ダイヤ改正等の要点 資料1-3 参考資料 資料2 市営定期船運航ダイヤの改正に伴うかもめバスダイヤ改正の考え方別冊 三重県地域公共交通計画(中間案)、概要
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
出席委員	立花会長、加藤委員、藤原委員、川北委員、小崎委員、濱崎委員、中山委員、山下委員、前葉委員、木下委員、山下委員、藤田委員代理黒川氏、今井委員、中田委員代理羽根氏、竹内委員、森吉委員代理垣内氏、清水委員代理岩佐氏、木下委員、西川委員、山本委員、高木委員、小寺委員、濱田委員、岡本委員、辻川委員、高浪委員、福田委員 27名
オブザーバー	なし
欠席委員	橋本委員、谷端委員、豊田委員、斎藤委員
事務局	定期船課 山本、西根、斎藤 企画財政課 斎藤、小崎
<p>1. あいさつ</p> <p>○事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配布資料の確認 ・出席報告(31人中27人出席) <p>○会長挨拶</p> <p>本日は、鳥羽市地域公共交通会議 全体会にたくさんの委員の皆様にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、平素より本市の旅客運送に多大なるご理解とご協力をいただいておりますこと、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>本日の議題は、市営定期船の新船就航に伴う離島航路のダイヤ改正になります。それに伴うバスダイヤ改正の基本的な考え方について共有させていただきます。</p> <p>この離島航路のダイヤ改正等に関しては、各町内会と懇談会を開催し、特に減便をお願いする坂手島では町民に対し説明会を開催しました。そして、令和6年度定期航路事業基本方針案を定期航路事業運営審議会に諮問し、2月7日の定期航路事業運営審議会において、承認を得たダイヤ(案)となっております。</p> <p>かもめバスダイヤ改正に関する考え方については、定期船航路ダイヤの改正に伴う中之郷乗り場廃止により、利用者の利便性を大きく損なうことのないように調整していきます。</p> <p>限られた時間の中ではございますが、様々なご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>	

2. 議事

(1) 議案第1号 市営定期船運航ダイヤの改正について

○事務局説明

～議案書、資料1、資料1-2、資料1-3に基づき、市営定期船運航ダイヤ改正(案)、定期船航路ダイヤ改正等の要点、令和6年度定期航路事業基本方針等を説明～

○委員からの質問等

・委員(利用者)

ダイヤの改正については何度も協議しているので特に質問はないが、緊急船をつける場所については中之郷棧橋を利用する場合もあるという理解でよいか。

・会長

基本的に中之郷の棧橋については、床板の老朽化により使用禁止という基本方針が決まっている。救急船をつける場所として中之郷が使用禁止となると、地区によっては一番近い港が使用禁止となるが、そういったことも含めて内部での検討している段階のため、この場で発表するのは控えたい。

・委員(利用者)

住民への周知の件について進捗状況を聞きたい。検討経緯・今後の予定を見ると5月1日号の広報とぼとHPで周知開始とのことなので、5月1日までは外部発表すべきでないという理解でよいか。

・事務局

今回の会議を終えて手続きが整うということになるので、運輸局の手続きが始まる。まだ新しい船ができていない状態のため、書類等の申請等の手続き上のことで公表の時期が前後する可能性はある。オフレコの期間が長いということで、本日の資料も最後に回収させていただきたい。混乱を避けるため、きっちりと決まって出せる状態になってからみなさんに説明をさせていただきたい。

・委員(利用者)

新しい船が8月頃に修工する予定ということは聞かれたら答えてもよいか。

・事務局

その程度の回答であれば問題ない。

○採決

・会長

議案第1号について議案書にお示しのとおり決定することにご異議ございませんか。

(異議なしの声有り)

(2) 協議第1号 市営定期船運航ダイヤの改正に伴うかもめバスダイヤ改正の事前協議について

○事務局説明

～資料2に基づき調整の方向性を説明～

○委員からの質問等

・委員(利用者)

先週、新しいかもめバス乗車予定位置付近で交通事故があった。離島住民が乗用車にぶつかられたとのこと。貨物受付場所の塀が高すぎることで見通しも悪く、通行の障害になっているのではないかと感じている。塀を新しく作る際は考慮していただきたい。

・事務局

事故を受け、県の港湾課の方にその話はさせていただいた。乗用車からの目線で見通しがいい高さにしていただきたい旨お願いしている。バス停との距離感については少し離れているので問題はないかと思われる。乗り場から近くなって便利になるように考えて施行するので、離島の方たちに聞かれた際はそういう予定で進んでいるとお伝えいただき、安心させてあげてほしい。

・委員(利用者)

現状のマリンターミナル前は、ロータリーの役目は果たしていない。安全については運転手頼みであり、構造的には事故が起こってしまっても仕方がない構造だと思うので、事故が起こりにくい安全な

ロータリーにしていきたい。

・事務局

以前から県の港湾課にロータリーの手直しをしていただきたいという要望はしている。塀の話とセットで対応いただけるかと思う。

・会長

今は導線が乱れているので、今回で導線が変わったりもするかと思う。事故等に関しては気を付けて、安全対策について協議しながら進めていただきたい。

・委員(利用者)

マリナーミナルのかもめバスの乗車位置・降車位置を別にして新しく作ろうと思った動機・考え方を改めて聞きたい。

・事務局

位置変更については、離島の方々に中之郷廃止の話をした際に、バスの乗り場もっと近くにしてもらえないかと各離島から要望があったことによる。目的は、利用者の利便向上である。

・委員(利用者)

バスの時間と船を降りた時間がちょうどいい個人がそういう風に話したのではないかと感じる。現状、全航路にデリケートに対応するようにバスダイヤは組まれておらず、ほとんどがマリナーミナルの中で一旦待ち、バスの時間になったらバス停の方に行っている。現在のバス停は、マリナーミナルからアーケードでつないでいるため、雨の日でもそのまま行けるというのが非常に良かった。

・事務局

バス停に向かう導線の雨除けについては、新しいバス停は海側になっているため、今と同じようなアーケードではつなぎにくいと考えている。バス停そのものは、雨除けに加え、これまでになかった風除けができるものを作りたいと思っている。

・委員(利用者)

横のテントや屋根がつくようなバス停を設けるということでよいか。そうすると、雨が降っているときや風の強い日でも屋根のついているバス停までアーケードなしで風雨にさらされながら移動することになる。大小に関わらずアーケードをつける予定はないのか。また、現在のバス停はゆったりと3人ほど座れるベンチが4つ置けるくらいの広さがあるが、設置予定のバス停はいかがか。

・事務局

ターミナルからバス停まで続くようなアーケードがつく予定は今のところない。今の船のダイヤでバスを待つ時間は利用者によって異なるが、船のダイヤの5～10分後にバスが来て、そのままバス停に行けば乗れるようにかもめバスのダイヤの調整をする予定である。

・委員(利用者)

今までは20～30分待つことも多かったが、今度はもう少し待ち時間が短くなることを目指していきたい。意見は、新設する方向で話が進んでいるようなので今更ではあるが、今の場所から動かないほうがいいという考えである。なぜそこに作ろうと考えたのかをしっかりと聞きたかった。

・事務局

どうしても時間が合わないところもあるがそうしていきたい。

・会長

バスの停留所のあたりに風雨をしのげるタイプのバス停を計画しており、直前にそこまで行けば箱の中で座って待っていただける。海側の階段部分あたりまではアーケードもつながっている。事務局はそういった説明をすべきである。

・委員(三重交通)

乗り入れに関して、バスが正着できるかなどの情報共有をいただきたい。また、案が変更・調整できる段階で調整を行いたい。運行管理者が出向いて安全面などの確認をさせていただければと思う。

・事務局

現在、県にて図面を作成中。そのなかで三重交通や警察との調整が県の方で行われる。案としての図面が出来次第、連絡をして現場立ち合いをお願いしたい。

・委員(利用者)

今後の予定として令和6年6月1日に市広報・HPで周知をするとのことだが、地区ごとに必要な部分が核にしやすいうよう作成するなど、高齢者でも分かりやすいように周知をしていただきたい。

・事務局

以前の会議でも高齢者の方向けのバス教室を開けたらという話をさせていただいたことに加え、時刻表の予算を上げている。その中でマイ時刻表のようなものがあればという話かと思うが、そういったことも含めてバス教室の広報を4月～8月の間にせればと考えている。

・委員(利用者)

以前、モニターにバスの乗り方動画等を載せて案内するという提案もあったと思うが、せっかくモニターがあるのだから時間帯で表示をしていったほうが良いのではないか。

・事務局

モニターにバスの乗り方の手順の動画等を流すということも予定はしている。

・委員(利用者)

以前、循環便の話もあったが、それも含め全体的なバスの路線の動き方はどういう風に捉えたらよいか。

・事務局

今回のかもめバスダイヤ改正については定期船の時間に合わせた乗り継ぎの部分を中心にさせていただく。その後、これまでいただいた循環便に関する意見等について整理をしていく。

・委員(利用者)

循環便はバスの全体的な路線の動きに入れ込むのか。または別であるのか。

・事務局

まずは定期船のダイヤに合わせた中之郷方面・鳥羽駅(近鉄・JR)のつなぎの部分について乗り継ぎがしやすいようなダイヤ改正をする予定。循環便についてはまだ協議で意見を聞かせていただいているところで、決定していないのでこれからの話になる。

・委員(学識経験者)

何から何まで知らないことばかり。循環便が8月から始まると思っていたし、そうでないと合わせられない。マリナーミナルのバス乗り場の件は、非常に重要度は高い。設計は色々可能であると思うし、三重交通が懸念されているように、乗り場ができてしまってから使えないということにならないようにしっかりと調整し、考えていただきたい。

移設予定先付近での事故の話があったが、貨物受付の車の導線と次の積み込みの人の導線と歩行導線がバッティングしていることが大きな理由とのことだった。現状、船とバスの距離が開いているということが課題である。そのことも含めてレイアウトの変更についてはよく考えないといけない。

ダイヤをすべて合わせることは困難であるので、降りた時点で、時間や次にどこに向かったらいいかをデジタルサインにより示せる形に整備することが理想的である。

離島の方を優先したダイヤ組みをすると、次は石鏡方面で不具合が生じて1本減便しなければならないということも出てくるかもしれない。8月1日にダイヤ改正をしたいとのことだが、観光シーズンの夏休み中よりも9月1日とかの方が良いのではないかと思う。

乗り場は、降りたらすぐ行先・発車時刻が分かるように表示すること、また、待ち時間を過ごす際にくつろげるようにしておくというところまでしないとイケない。

・委員(利用者)

以前、観光商工課長からコロナ以前・以後の入り込み客数について、鳥羽水族館等の特定施設が引き上げており南鳥羽が減少していると紹介いただいた。

南鳥羽地域に行くバスの本数が少ないため、できれば平日も1～2便くらいは運行してほしい。景色の良い場所を紹介してほしいと観光客に言われてもアクセス面の問題で鳥羽展望台に行くことができないため、志摩市の横山展望台に行ってしまうこともしばしばある。ちなみに、横山展望台は昨年度35万人の観光客が訪れたそう。

それから、バス停の表示版に、忘れ物をした際の連絡先やバスの遅延情報等が分かるようなQRコードを付けることも必要かと思う。

・事務局

検討する。

・委員(利用者)

中之郷棧橋周辺で横断歩道を使わずに道を渡る方がいたりして危険であるため、注意喚起をしていただきたい。

- ・事務局

注意喚起についてバス教室等でできたらと思う。各離島でも周知をお願いしたい。

- ・委員(学識経験者)

循環便をつくるのであれば無駄を省くために折り返してくるという経路で考えるべき。横断歩道を使わずに歩いて渡って危険な目に遭うよりも、一度通り過ぎて折り返して最寄りバス停にすぐ戻ることができるということを利用すべき。バスロケーションシステムは鳥羽にないので、何分バスが遅れるか等は正確にお伝えできない。まず使えるようにすることが重要ではないか。バスや船が遅れた時に、次の経路を表示することも重要である。

モニターにリアルタイムの情報を表示する方がいい。

(2) 三重県地域公共交通計画中間案について

○県交通政策課説明

～別冊に基づき、主に計画の位置づけ、内容を説明～

○委員からの質問等

- ・会長

各市町単位で交通計画を作っている。そのすべてが市町の域内で完結するものではないため広域交通との整合も必要ということで、県との調整をしながら作っていくベースとなるものという認識でよいか。

- ・委員(県交通政策課)

そのとおり。

- ・委員(学識経験者)

国や県が補助金を出しているバス路線が県内にもたくさんある。それらは県の申請であり、大きい額のお金が出る。計画に記載がないと補助対象とならないということで、多くの県では慌てて公共交通計画を策定している。慌てて策定するがために市町村との調整ができていない事例が少なからず見受けられ、運輸局でそのことについて指摘があった。鳥羽市では、1月5日に全体会が開催されたが、本来であればパブコメの件を含め県からお伝えするべきであったが、そういった説明がなかった。このようなことはあってはならない。個人的には、航路に関する記載が不十分で、伊勢湾フェリーの航路については、具体的なことは書かれていない。

- ・会長

事務局は公共交通案を聞いていたのか。

- ・事務局

策定にあたり、県からパブコメと同じタイミングで各市町に意見照会がありました。事務局として役所内のみではあるが全課に意見照会をかけ、鳥羽市の意見としてまとめ提出しました。前回全体会にてお示しできなかったことは事務局としても配慮が足りなかった。申し訳ございませんでした。

- ・会長

急いで作っていたからという理由は理解をするが、パブコメの段階ではなく、もう少し早い策定の部分でもう少し市町に情報の共有いただきたい。

- ・委員(県)

承知した。こういった機会を利用して共有させていただきたい。

本日いただいた意見については報告をする。

○採決

- ・会長

この件について、ご意見、ご質問等ありましたらご発言をお願いします。

(意見・質問なし)

4. 閉会